

評価委員会議事録

1. 開催日時 平成 31 年 4 月 17 日（水）午後 3 時～午後 4 時 30 分
2. 開催場所 奥州商工会議所 1 階大会議室
3. 出席者

(1) 委 員 5 名

委員長	奥州商工会議所	専務理事	高森 俊文
委 員	岩手県県南広域振興局	経営企画部長	鈴木 一史
〃	奥州市	商工観光部長	千葉 典弘
〃	税理士・商工調停士		及川 幹雄
〃	中小企業診断士		高橋 雅裕

(2) 事務局 8 名

奥州商工会議所	事務局長	菊地 浩明
〃	事務局次長兼経営支援課長	小野寺博一
〃	総務企画課長	戸田 淳也
〃	地域振興課長	菅原 和憲
〃	江刺支所長	阿部 潔
〃	総務企画課長補佐	及川 智英
〃	経営支援課長補佐	高橋 悦也
〃	経営支援課主任	宮澤 孟

4. 内 容

- (1) 開会（事務局）
- (2) 挨拶（高森専務理事）
- (3) 設置要綱説明（事務局）
- (4) 評価（高森委員長が議長となり評価を行った）
- (5) 閉会

5. 議事の概要

高森専務理事より挨拶の後、事務局より設置要綱の説明。その後、高森委員長を議長とし、評価に入る。

〈意見・評価等〉

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

※委員評価は内部評価の通り。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

・財務状況把握件数だが、単年度の数字なのか、累計か。

- ・専門家による分析の評価だが、他の会議所に比べて、持続化補助金の採択率が高いので、定量的な評価だけではなく、定性的な評価を加味し、評価表にコメントを付記し、評価をランクアップさせても良いのではないか。
- ・(2)③専門家による分析は採択率を加味し、コメントを付記することにより、Bに変更。その他は内部評価の通り

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

- ・既存事業者に対する策定セミナーだが、県内の会議所を見ても、1回で70人を集めるのは難しい。1回で25人だと目標達成まで2回・3回と実施しなければいけない。他のセミナーの参加状況を考慮すれば、1回で25人の参加は多い方なので、ランクを上げて良いのではないか。また、相談会の参加者が10人で、セミナー参加者25人の約40%が参加しているという事で評価を上げて良いのではないか。
- ・既存事業者の策定件数だが、セミナー参加者数や持続化補助金の採択率を考慮したら評価を上げて良いのではないか。
- ・創業計画策定の相談が11件で、実際に策定支援11件すべて創業しているのであれば、評価を上げて良いのではないか。

※(1)既存事業者のセミナー参加者数、相談会参加者数をCに変更、(1)既存事業者の策定件数、(2)創業希望者に対する策定件数をBに変更。その他は内部評価の通り

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

- ・既存事業者に対するフォローアップだが、計画策定をした事業者が22件と目標35件に達していない中、計画にある1事業者につき年4回程度のフォローアップを実施しており、目標には達していないが評価を上げて良いのではないか。
- ・創業者に対するフォローアップだが、目標120件に対して実績が117件と90%以上なのでA評価ではないか。
- ・専門家によるフォローアップだが、毎月、専門家を招聘しての定例の経営相談や金融相談を実施しており、その件数も加味しても良いのではないか。
- ・セミナーの開催による事業実施支援だが、参加者数が3回で85人は多いと思う。評価の変更は行わないが、他のセミナーに比較し、参加者が多い事をコメントとして付記すべきではないか。

※(1)既存事業者に対する実施支援はBに変更、(2)創業者に対する実施支援はAに変更、(5)専門家による実施支援は、定例の金融相談・経営相談を加味し、評価、(6)セミナー開催による実施支援は、評価は変更しないが、他セミナーの参加者数より多い旨をコメントとして付記、その他は内部評価の通り。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

- ・大都市圏での需要動向調査だが、去年は銀座のアンテナショップが20周年で改装を行い、出店可能日数が少なかった。その事を補足説明として表記した方が良い。

※すべて内部評価の通りだが、(2)大都市圏での需要動向調査に補足説明を付記。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

- ・アンテナショップでの物産展について、先程の20周年の改装で、出店可能日数が少なかった事を補足説明として表記した方が良い。
- ・大手百貨店への出展についての課題も明記した方が良い。
- ・マスメディアの活用した販路開拓支援だが、プレスリリースにだけこだわらず、地元情報誌などの媒体を活用した場合も立派なマスメディアを活用した広報活動でないか。

(2)アンテナショップでの物産展に補足説明と課題を明記。(4)マスメディアを活用した販路開拓支援は広義的に解釈し、支援事業者数はCへ変更し、販路拡大事業者数はAへ変更。その他は内部評価の通り。

II. 地域経済の活性化に資する取組

※委員評価は内部評価の通り

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

- ・職員26人に対して、研修へ延べ人数で29名も派遣していれば、評価を上げて良いのではないか

※2(1)をBへ変更。その他は内部評価の通り。

○計画・評価全体に対する意見

- ・新たな需要の開拓に寄与する事業や地域経済の活性化に資する取り組みは、会議所だけでは限界があり大変だと思うので、市も巻き込んで実施した方が良い。
- ・計画自体が総花的なものになっており、会議所として本当にやらなければならない事、例えば企業の足腰を強める事や事業承継などであり、それらに特化させるなど力を入れる姿勢が必要でないか
- ・創業など熟度が低いと留めることも必要。